

医療法人幕内会 山王台病院・介護老人保健施設 あいあい

山王台

Sannodai

2005.01 JANUARY

新年号

2



新春対談



外科医 VS 陶芸家

院長 幕内幹男 + 陶芸家 寺本 守



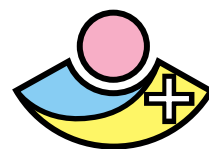
医食同源 / 身欠鯨 (管理栄養士 多田道子)

医科だより / 内視鏡センター (内視鏡主任 羽田 正美)

高度先進医療最前線 / リハビリテーション (リハビリテーション科士長 宇井 崇)

スタッフの横顔 / 医療事務として悔いのない仕事を (事務局長 天野光恵)

山王台インフォメーション



SUNNOUDAI
HOSPITAL



身欠魚

秘境で出会った食材 身欠きニシンの知恵と力。

最 近、幕内院長が福島県と山形県の県境に近い山都村の宮古という秘境で出会った食材が身欠きニシンです。

この食材は年配の方には馴染みのある古くからの食材ですが、若い世代には「ニューフェイス」といえます。しかし、この食材こそはハンバーガーに代表されるアメリカン・ジャンクフードの対極に位置する有望な食材なのです。

そもそも日本産ニシンは北海道が戦前までは最盛期で以後急速に衰えました。

渤海湾からカナダに分布し、回遊性ニシンと小さな回遊の地域性ニシンとがあります。

繁殖年齢は三から十数歳までで、春に大群で接岸し海藻に卵を産み付けます。昆布に産みつけたものが『子持ち昆布』です。

鮭と同様に回帰性が強く、稚魚期に放流した海域に成熟した固体が回帰し、刺網・巻網で漁獲します。

そのニシンを生干したものが『身欠きニシン』です。かつて日本海沿岸の岩内、余市、古平を中心にニシン漁が盛んだった時代、身欠きニシンは背肉だけをとって乾燥する『一本採りみぎき』として生産されていました。

水分二二%以下を本乾、三三%以下を半乾、三三%以上を生乾と呼んでいます。

その栄養価は、成分表に端的に示される通り超優良でなかでも注目されているのがEPA A(エイコサペンタエン酸)、DHA(エイコサヘキサエン酸)です。EPAは血中のコレステロールを低下させ、血液の流れを良く

する働きがあります。DHAは頭の働きや記憶力を良くする作用があり、『頭がよくなる』と評判になりました。

ともに脳硬塞や狭心症の予防に効果があるので、成長期の子供たちはもちろん成人病の可能性のある中高年にもとって欲しい栄養素です。

さらに身欠きニシンには女性の骨粗しょう症の予防に欠かせないカルシウムや貧血防止の為に鉄分などが豊富に含まれています。調理法としては、そばの上

に煮付けた身欠きニシンをのせるニシンそば、酢で漬込んだ酢漬、山菜と炊く炊き合わせなどがあります。ご家庭でもぜひ一度御賞味くださいませ。

EPA,DHA,カルシウム含有量(単位: mg/100g)

魚の種類	身欠魚	ニシン	サンマ	サバ	サケ	
成分	EPA	1,975	1,274	844	1,214	492
	DHA	1,191	768	1,398	1,761	820
	Ca	190	100	75	22	14



管理栄養士
多田 道子

表紙題字 / 陶芸家 寺本守
生花 / 華道家 鈴木花図美



山王台病院と介護老人保健施設『あいあい』に作品を提供している陶芸家・寺本守氏。平成一七年の新春を飾る特集企画に寺本氏を招き、幕内院長とリラックスした雰囲気での対談を試みました。寺本氏との交友の深さを物語るエピソードや意外な素顔がのぞきます。

陶芸家 寺本 守

理事長兼院長 幕内 幹男

決して同じところに留まらない。チャレンジを続ける姿勢に共感する。



陶芸家の集いに参加した縁で、職種を超えた付き合いが始まった

寺本「幕内院長との出会いは三年くらい前でしょっかね」
幕内「そうですね。私が焼物に興味があることを知っている方が、陶芸家の集まりがあるからと誘ってくださった。その集まりに来ていた陶芸家のお一人が、寺本先生だったのですよね」
寺本「そうですね。それが縁で

介護老人保健施設『あいあい』のエントランスホールの壁面に、私の作品の陶板のレリーフを採用していただくことにもなった。このような施設の壁面にはめ込むとなれば、作品として主張しすぎていけないし、空間を生かし、訪れる人の感覚になにかのインスピレーションを与えるものであるようにと考えました」
幕内「レリーフのテーマは、飛行機の上から見た街の風景でしたね」

新春対談

外科医 VS 陶芸家



陶芸家 寺本 守

院長 幕内 幹男

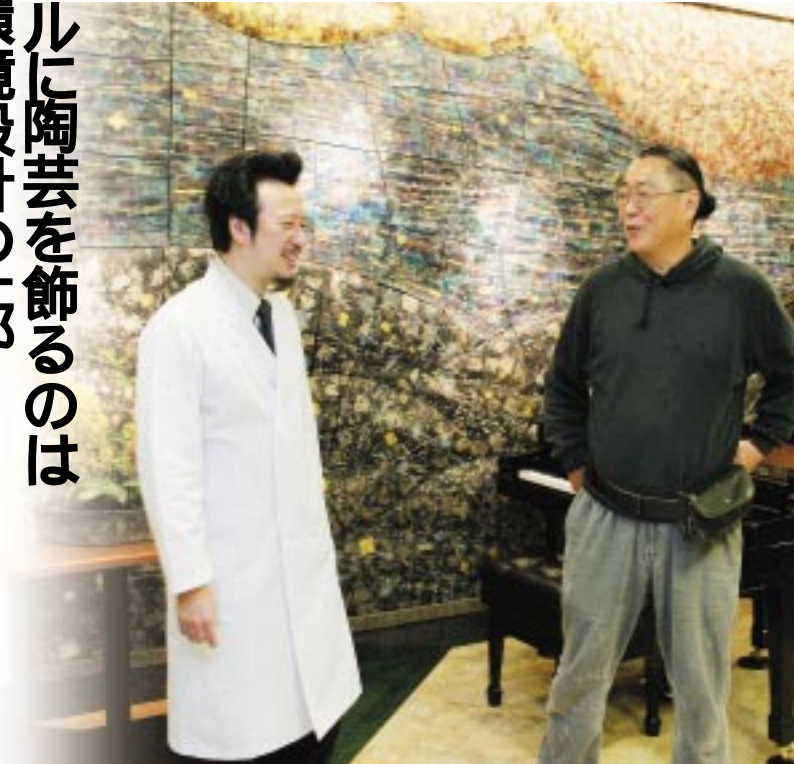
寺本「もう随分前ですが、私が初めて行った海外がアメリカで、ロサンジェルスが眼下に広がって見えたときの印象がとて鮮やかだったので、それを作品にしたいんです」

幕内「寺本先生は、常に新しいチャレンジをする方で、同じところに留まっていない。少しすると、まったく違う作风になっていたりして、その姿勢はスゴイと思うし、共感するところなんです」

エントランスホールに陶芸を飾るのは癒しを演出する環境設計の一部

「アートは『ハード』ではなく『ソフト』だ

幕内「以前に、知り合いの医者から、幕内さんは、建物のハードにお金をかけ過ぎていないんじゃないかと言われたんです。たとえば、それが陶板のレリーフや絵画などのことだとすれば、どうなんでしょうね。私は、アートはハードではなく、ソフトだと考えているんですよ。病院や介護施設を利用する方への対応や思い遣りと同様に、安らぎや癒しの



ためのソフトだと」

寺本「外壁や高価なドアとかとは違いますからね」

幕内「しかも、私は寺本先生の作品は好きですが、自分のコレクションを飾っているというのとは違います。高額な骨董品やなんかいろいろ飾ってあって、どう見ても全体の統一がなされていない病院があって、聞いてみたら家族の誰かの趣味だったなんていうことがあります（笑）。病院などの施設の中のアートは、そんなものである

べきではなくて、快適さを演出する環境設計のソフトの一部だという考えです」

寺本「山王台病院と介護施設の『あいあい』では、食器に私の



病院と介護施設で使用している寺本氏の食器

の作品を使っていらつしゃる。一般に、病院関係の食器といえば、プラスチック製というようなイメージがあるけど、こちらは違う」

幕内「食事を楽しむという意味では、器は非常に大事ですからね。これもソフトですね。陶器は、お年寄りには重いという方もいるかもしれませんが、それを持って食べることで機能回復やリハビリにもなるんです」

寺本「ものによっては、軽めに仕上げてあります。料理を引き立てて、食器の手触りなんかも感じていただきたい。そろそろ、新しいものに変えたいなとも思っているところなんです（笑）」

『絵が上手い』外科医は手術もうまいんだ

寺本「この前、私がニューヨークで個展をしたのに合わせて、アメリカへ一緒に来たのは楽しかった。珍道中でしたね。お互い、余計な気を使わないでいられるところがいい（笑）」

幕内「寺本先生とは、仕事を離れた部分で気が合うというか、私より七、八歳上ですが話



アメリカ旅行より



芸術家と医者に、 共通するものはあるのか

しをしていて面白いし、刺激を受けたら納得したりすることが多いですね」

寺本「私は、陶芸家でモノを創る人間。自分独自の作品を生み出すことを生業としているわけだけど、そういう意味で、医者との接点とか共通点というのはあるんでしょうか」

幕内「うーん、医者と芸術家に共通するものですか？そうすねえ、まあ、薬による治療だと、たとえば制癌剤などは日本全国どこの病院でも同じ薬で同じ治療ができます。しかし、手術は違います。手術というのは、医者個人がもつ独自の技術ですから、そういう意味では芸術に通じる部分があると思いますね。私の師匠で、京大で日本初の生体肝移植をした熊田教授という方がいるんですが、その教授は手術記録の図を意味するシーマを描くのが非常に上手なんです。絵が上手な外科医は手術もうまいんだ、といつも話していましたよ」

『ろっ骨レコード』を探しに行こう

寺本「私は、作品づくりのインスピレーションというのをテレビを見ていて感じるものがあるんですよ。院長は、そんなことないですか」



ソ連でレントゲン・フィルムをレコードにした時代があった

幕内「一九五〇年代のスターリング配下のソ連で、ジャズやロックン・ロールなんかの西側の音楽が厳禁だった時代に、そんな音楽をどうにかして聴きたいと思った若者が、病院のレントゲン写真のフィルムを再利用したレコードを作って、アンダーグラウンドで録音して売っていたという番組を見ましたよ。レコードはレントゲンのフィルムを使ったものだから、当然そこにはろっ骨や頭蓋骨が写っています」

『ろっ骨レコード』って呼ばれて

ていたそうです。そのレコードを探しに、ジャズサックス奏者の坂田明氏がロシアに行くという企画だったんですが、とても面白かった」

寺本「それはスゴイですね。院長は、とにかく常に神経を研ぎすましてるし、医者としての技術も優れている。その集中力には敬服しています。たまには、自分のための息抜きも大事ですよ。また一緒に旅にでも出て、『ろっ骨レコード』みたいな面白いものに出会いに行きましょう」



回廊ギャラリー「門」

寺本 守 (てらもと まもる)

陶芸家。昭和24年神奈川県生まれ。昭和50年、九谷・松本佐一氏に師事。昭和55年、第27回日本伝統工芸展入選・茨城県芸術祭美術展優賞をかわきりに、第28回・第30回・第32回日本伝統工芸展入選、平成2年板谷波山賞、平成6年第34回伝統工芸新作展奨励賞など受賞多数。日本工芸会正会員、茨城工芸会会員。平成15年、笠間市在住の優れた陶芸家の作品を展示・販売する、回廊ギャラリー「門」を笠間市にオープンさせ、現在、出展アーティストは47名にまで広がる。笠間市在住。



内視鏡の限界は？ ファイバー五ミリ メートル時代。 カプセル内視鏡も 検討中！

当 院内視鏡センターでは、検査のみならず以下の三つの治療に内視鏡を積極的に活用しています。

(1)胃・十二指腸潰瘍の出血に対する止血術として、アルゴン・レーザーで患部を焼いたり、クリップで留めたり、エタノール注入で止血します。(2)早期癌の治療のためEMRやポリペクトミーを実施しています。(3)胆道検査の目的でERCPを行ない、結石等の異常があった場合には、ENBDやESTの治療を行ないます。これらの治療は、患者様の身体への負担が少なく済むため、内視鏡治療は近年発展が著しいです。

しかし、高度な技術が必要な治療法でもあります。当院長は以前から「患者様の負担を少なく、楽に治療・検査ができるように患者様に優しい医療を提供したい」と話してお

医科だより

02

内視鏡センター



【五つの理念】

- 一 笑顔で対応します。
- 二 患者様の安全・安楽を守ります。
- 三 常にスタッフ全員が質の良い看護を提供します。
- 四 スタッフの知識・技術の統一を図り、向上に努めます。
- 五 『報連相』を徹底します。



内視鏡主任
羽田 正美

区分	略語の解説	件数
(1)止血術	レーザー(アルゴン・レーザー)/粘膜切除術	110件
(2)癌治療	EMR / 内視鏡的粘膜切除術 ポリペクトミー / ポリプ切除術	
(3)胆道検査 / 治療	ERCP / 内視鏡的逆行性胆道膵管造影法 ENBD / 内視鏡的経鼻胆管ドレナージ EST / 内視鏡的乳頭切開術	430件

り、そのために最新の医療機具を揃え、知識・技術の向上に努めてきました。

現在当医院にある最新の上部内視鏡スコープ(胃カメラ用)の先端外径は五・〇ミリメートルしかありません。内視鏡を実施しているのは、院長をはじめ常勤医五名の医師と非常勤医二名の医師、スタッフは看護師四名、看護助手二名で、月々土曜日まで毎日行なっております。

内視鏡の総件数としては新設した平成一一年六月以来、上部内視鏡(胃カメラ等)は約二万五〇〇件、下部内視鏡(大腸カメラ等)は約六千七〇〇件、気管支鏡約二〇〇件を実施してきており、県内トップクラスの件数になります。

また、患者様から「山王台は検査が楽だっただけだったので受けに来ました。本当に楽にできてよかったです。」と云っていただきます。このように他院からの紹介の患者様やお知りあいの方から聞いて検査を受けてくださる患者様が多くいらっしゃいます。

これからも、患者様への優しい医療を提供するために知識・技術の向上に努めます。ぜひ当院内視鏡を受けてみて下さい。

高度先進医療 最前線

リハビリテーション科

Rehabilitation

【リハビリテーション】



王台リハビリテーション科では、**幕内会**をご利用いただいている**全ての方**を対象に治療を行なっています。開設から約一年四ヶ月がたちますが、その間**一万五〇〇〇件**を超える治療件数を数えることが出来ました。リハビリ医療においても年々進歩が見られ、以前のように発症後の障害を治療するだけでなく、近年では**予防医学の重要性が高まっています**。例えば**外科手術を受けた場合**、呼吸器に肺炎や**無気肺**といった合併症を起こすことがありますが、手術前から呼吸筋強化、胸部伸張運動などのリハビリを行なうことで、呼吸器合併症を約**二〇〜四〇%減少**することができるとの報告もあり、**当科でも積極的に取り組んでおります**。

1年4ヶ月で15,000件を超える治療実績。

リハビリテ・シオン科士長
宇井 崇



医療事務として 悔いのない仕事を

私が、医療界に入職いたしました。四半世紀になります。約四年前に山王台病院に入職して驚きましたことに、この地域の中核病院として、迅速かつ正確な医療に取り組み、大学病院に比しても劣らぬ多種多様な疾病患者様の受入れを行なっていることでした。そのため、私たち医療事務を行なうものにとって、レセプト作業(社保、国保等の保険請求)の難しさを見て取ることできたのです。時々、「山王台病院は会計が遅い」とのクレームがありますが、どうに

か早い会計処理をと思いつつ、しかも複雑な内容をミスの無いように二重チェック体制を敷いたところです。患者様の数も徐々に増加し、月間で三三百〇〇人の患者様にご利用いただいております。



事務局勉強会

職員レベルアップと真心での対応を念頭に悔いのない仕事を続けたいと思っております。また、身近になりました介護保険制度が今年三月でまる五年を迎え、見直しの時期になりました。保険料の徴収年齢の引き下げ、施設入所介護度が重度の方への制限、施設給付の見直し(自己負担の拡大)等、経済が優先であって、一方で介護保険を推奨しつつ、他方で利用を困難にさせるような改悪にならないよう望んでおります。

山王台病院
事務局長

天野 光恵



INFORMATION

恒例「居酒屋まくちゃん」は スケールアップして開催



寺本先生差し入れの
大葉焼きピザも大好評

9月25日(土)恒例の『居酒屋まくちゃん』は、あいあい設立一周年記念と重なりボランティア、職員、美野里から駆け付けた12所消防の舞踊『よさこいソーラン』が場をいつも以上に盛り上げ大盛況でした。

青空まくちゃんバーベキュー 大会を開催しました



11月28日(日)あいあい前の駐車場を開放し『青空まくちゃん、バーベキュー大会』を開催しました。

ご利用者やご家族の皆様が集まり、地域の方やボランティアの方と一緒にのイベントです。

新鮮な空気をたっぷり吸って、明るい陽射しを浴びながら美味しいものを食べて、開放気分を満喫することができました。

冬至の日、檜の柚風呂でゆつたりリラックス温泉気分



石岡中学校の吹奏学部による ボランティア演奏会



コーラスで感激!「コールそ れいゆ」による名曲の数々



11月18日(日)コーラスグループ『コールそれいゆ』による合唱ライブが行なわれました。『里の秋』『ふるさと』など、昔懐かしい四季折々の名曲を美しい歌声で聴かせていただきました。

利用者の皆さんも一緒になって唄ったり、感激のあまり涙を流してしまう方もいらっしゃいました。心に残るひとときを過ごすことができスタッフ共々感謝いたしております。

ハンデキャップを乗り越え た書道家による書道教室



石田正一さんは、今年第7回茨城県障害者美術展で茨城県知事賞を受賞されました。展覧会の前には、1日何時間も練習をするそうです。

あいあいのデイケアでは、その石田さんをお招きして、毎月書道教室を開いています。ご利用者の作品は、どれも個性溢れる力作ぞろいです。

現在は、入所している方の参加も増え、交流をかねて皆さんで楽しんでいます。

渡邊真理子さんによる ピアノ演奏会を開催



10月27日(水)には『グループホーム霞ヶ浦の里』に勤務し現在、音楽療法士を目指している渡邊真理子さんによるピアノの演奏会が行なわれました。

今流行のものから昔懐かしい歌謡曲まで全10曲を弾いていただきました。利用者の皆様方大変喜んでいただき、みんなで大合唱する一幕もあり、アンコールがなりやみませんでした。

ぜひ次回もまた開催したいと思います。



編集後記

芸術の香り漂う新春対談はいかがだったでしょうか。忘れ去られた食材『身欠鯨』の栄養価の高さに、先人の知恵の深さを感じました。古き良き日本食の伝統をもっと見直すべきかも知れません。今後とも、病院、老健を含めた情報提供に努めて参ります。